

NEWS RELEASE

2026 年 2 月 10 日
株式会社三菱総合研究所
TDSE 株式会社

三菱総合研究所と TDSE、日本語のビジネス下で AI が PC を操作する「PC 操作エージェント技術」の有効性を確認

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長執行役員:藪田健二、以下 MRI)と TDSE 株式会社 (代表取締役社長:東垣直樹、以下 TDSE)は、人間の指示を受けた AI が PC を操作する「PC 操作エージェント技術」が日本語のビジネス向けにも有効であることを確認しました。今後、お客さまの実務での PC 操作エージェント適用に向けたコンサルティングや業務実装支援を開始します。

1. 背景

PC 操作エージェント(GUI エージェント)は、人間の指示に基づいて AI がマウスやキーボードを使って PC を操作する技術です。この技術を搭載したソフトウェアは、商用・オープンソース含めすでにさまざまな種類が誕生しビジネス用途での活用が期待されています。一方で、日本語のビジネス利用下を対象とした検証データが少なく、その品質が十分に検証されていませんでした。

MRI の AI コンサルティング本部と TDSE のデータテクノロジーラボは、共同で PC 操作エージェント技術の検証を進めた結果¹、日本語を使用したビジネスの場での有効性を確認しました。

図表 1 :PC 操作エージェントの動作イメージ



¹ [AI ブログ | 第 8 回:GUI エージェント\(コンピュータ利用エージェント\)とベンチマーク | オープンなモデルで広がる AI の実務適用](#)

2. 検証方法・結果

日本語でのビジネス利用下における PC 操作エージェントの品質を検証するため、ビジネスの場で多く見受けられるシステム設定や事務手続きを想定した検証データと検証環境を準備し、代表的な商用ソフトウェアとオープンソースソフトウェアの性能を検証しました(図表 2)。

検証の結果、利用用途や対象システムの画面構成によっては実務適用の検討が可能な水準に達していることが確認できました。画面やボタン名から機能が読み取れ、具体的な指示が可能な場合、正しい操作を行うことが可能です。オープンソースの PC 操作エージェントについても、業務フローによっては一定の能力が確認できました。適切な環境を用意することで機密性の高い情報に対しても適用できる可能性があります。

以上から、PC 操作エージェントを活用することで、RPA²等の既存技術とは異なり、特別な設定を行うことなく、システム上におけるさまざまな業務を自動化することが可能となります。

また、ビジネス用途を想定し、それに即したベンチマークを設計・構築したことで、実行環境の条件、タスクの設計、評価手法、再現性の確保など適切な評価をするうえで重要な要素に対する知見やノウハウが得られました。この知見やノウハウに関しても実務での活用が期待できます。

詳細は技術 Blog をご参照願います。

・「AI が自ら画面を操作する時代」がすぐそこに-GUI エージェントの独自ベンチマーク構築と検証、実務適用への展望：<https://www.tdse.jp/blog/datatechlab/11591/> (TDSE 2026 年 2 月 10 日)

・AI ブログ | 第 12 回:GUI エージェント(PC 操作エージェント)の検証と実務適用可能性：<https://dx.mri.co.jp/ai-blog/12> (三菱総研が推進する DX 事業 2026 年 2 月 10 日)

図表 2: 評価用データセットと検証結果

利用用途	内容	商用ソフトウェア	オープンソースソフトウェア
システム設定(易)	画面構成がシンプルなシステムの設定	96 / 100	83 / 100
システム設定(難)	ローコード開発環境でのシステム設定	15 / 100	55 / 100
事務手続き(易)	画面構成がシンプルなシステムでの事務手続き	95 / 100	91 / 100
事務手続き(難)	画面構成が複雑なシステムでの事務手続き	96 / 100	15 / 100

注 1: 商用ソフトウェアとして ChatGPT Agent(2025 年 12 月時点)、オープンソースソフトウェアとして AgentS 3(2025 年 12 月時点)を検証

注 2: タスク完了率と事前設定した評価基準に基づき 100 点満点で評価

3. 今後の予定

MRI と TDSE は今後も連携を深め、最新技術の検証や社会実装を進めます。また、今回の取り組みを通じて得られた PC 操作エージェント活用やその評価に関する知見について、MRI は生成 AI コンサルティングにおいて活用し、お客さまの生産性向上と業務負荷軽減に貢献していきます。TDSE は、本検証で得られた技術的知見を活かし、顧客業務に適した AI エージェントサービスを創出・提供し、企業の DX と競争力強化を支援していきます。

なお、本件が業績に与える影響は軽微となります。

² Robotic Process Automation、定型操作を自動化する仕組み

参考

株式会社三菱総合研究所 概要

1. 名称:株式会社三菱総合研究所
2. 本社所在地:東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号
3. 代表者の役職・氏名:代表取締役社長執行役員 藪田健二
4. 事業内容:シンクタンク・コンサルティングサービス、IT サービス
5. 資本金:63 億 3,624 万円
6. 設立:1970 年 5 月
7. 担当部署:AI コンサルティング本部 (AI やデータを活用して、お客さまの事業変革とともに推進)

TDSE 株式会社 概要

1. 名称:TDSE 株式会社
2. 本社所在地:東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー27 階
3. 代表者の役職・氏名: 代表取締役社長 東垣 直樹
4. 事業内容:ビッグデータ・人工知能(AI)を活用したソリューション提供及び AI 製品(AI モジュールを含む)の提供
5. 資本金:8 億 3318 万円
6. 設立:2013 年 10 月 17 日
7. 担当部署:データテクノロジーラボ (データ分析・AI 技術の調査・検証を推進)

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所

【サービスに関するお問い合わせ】

AI コンサルティング本部 高橋、伊東
メール:gui-agent@ml.mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部
メール:media@mri.co.jp

本資料は、経済産業記者会、経済産業省ペンクラブおよび当社にてコンタクトのある記者の方々にもご案内しています。